

障害者職業カウンセラー職（経験者）採用試験における
各種試験の詳細および専門試験等について
2026 年 4 月採用春季募集実施分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

■目次

1. 障害者職業カウンセラー職（経験者）採用試験の概要・・・P. 3
2. 専門試験問題・・・P. 3～16

1. 障害者職業カウンセラー職（経験者） 採用試験の概要

第一次試験	職務適性試験（TG-Web）	集合形式
	専門試験	
	個別面接試験	対面形式
第二次試験	個別面接試験	対面形式

2. 専門試験問題

A問題	架空の障害者の就労支援事例に対して考えられる支援内容とその理由を障害者職業カウンセラーの立場で検討し解答する。 （応募時に精神障害、発達障害、高次脳機能障害から1つの障害種別を選択。試験日に当該障害種別の問題を解答する。）
B問題	職業リハビリテーションに関する語句の趣旨を解答する。

次頁以降に専門試験問題を掲載しています。

令和 8 年 4 月採用 障害者職業カウンセラー職
経験者採用試験＜専門試験問題＞

[A問題の障害種別]

精 神 障 害

＜注意事項＞

- 1 障害種別を確認してください。
- 2 「始め」の合図があるまでは、頁をめくらないでください。
- 3 表紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 4 問題にはA問題とB問題があります。
- 5 解答用紙はA問題用 1 枚とB問題用 1 枚があります。計 2 枚の解答用紙のどちらにも受験番号を記入してください。
- 6 解答時間は 2 時間です。「止め」の合図があったらすぐに止め、筆記用具を置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙とともに問題用紙も回収します。

受験番号	氏 名

A 問題

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問1～問6に答えなさい。

問1 次の「A氏の状況」を読んで、A氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を1つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A氏の状況
・30代、男性、うつ病。 ・大学卒業後、製造業の営業事務職として約5年間勤務したが、うつ病を発症し退職。その後、同様の職種で2社において各5年間程度勤務するが、うつ病を再発し退職する。精神障害者保健福祉手帳3級取得。 ・職歴について、本人は以下のとおり述べている。 「仕事を頼まれると断ることができない。他職員も多忙のため、自分が対応しないといけないのではないかと考えてしまう。慢性的に長時間労働であった」「仕事で困った時に、他職員に相談することが苦手」「他職員と意見が食い違くと、自分の考えを伝えられず、他職員の意見を取り入れてしまいストレスを感じる」「上司から仕事のミスを指摘されると、気分の落ち込みが長期間持続する」 ・精神科クリニックの主治医から、障害を開示して働く方法があることを聞いた。 ・再就職を希望しているが「前職を退職してから1年間経過しており、体力や集中力を回復させたい」「仕事を続けることができるか不安である」「障害を開示した方が良いのか分からない」「障害者雇用では、今までの給与と比較して大きく下がるのではないかと懸念している」と話す。

問2 問1で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問3 問2で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200文字以内で記述しなさい。

問4 問1及び問2で解答した支援を終えたA氏は、次のB事業所で3か月間の障害者トライアル雇用となったとする。「B事業所の状況」を読んで、A氏の就業継続を図るためにB事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を1つ、解答用紙の「B事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B事業所の状況 ・学校法人。従業員数約5,000名。 ・身体障害者の雇用経験はあるが、精神障害者は初めての雇用。 ・本人の業務は、総務課における旅費計算、物品購入に係る調達、データ入力など。業者や他部署と調整して業務を進める必要がある。 ・本人の勤務時間は、9:00～17:00（休憩は12:00～13:00）。週5日勤務。 ・本人の指導に関わる職員は主に、主任が対応する。状況に応じて、主任の上司である係長や課長が対応する。 （主任より） ・本人は能力が高いと思うため、様子を見ながら様々な仕事を任せたいと思っている。 ・他部署から様々な作業依頼が入るが、調整を円滑に行ってほしい。 ・精神障害の特性や配慮事項は分からないため教えてほしい。 ・自分は多忙のため頻回に相談の機会を設けることは難しい。困ったことがあれば本人から相談してほしい。

問5 問4で解答した「B事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問6 問5で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200文字以内で記述しなさい。

[精神障害]

【メモ欄】

令和 8 年 4 月採用 障害者職業カウンセラー職
経験者採用試験＜専門試験問題＞

[A問題の障害種別]

発 達 障 害

＜注意事項＞

- 1 障害種別を確認してください。
- 2 「始め」の合図があるまでは、頁をめくらないでください。
- 3 表紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 4 問題にはA問題とB問題があります。
- 5 解答用紙はA問題用 1 枚とB問題用 1 枚があります。計 2 枚の解答用紙のどちらにも受験番号を記入してください。
- 6 解答時間は 2 時間です。「止め」の合図があったらすぐに止め、筆記用具を置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙とともに問題用紙も回収します。

受験番号	氏 名

A 問題

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問1～問6に答えなさい。

問1 次の「A氏の状況」を読んで、A氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を1つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A氏の状況
・20代、男性。自閉スペクトラム症。精神障害者保健福祉手帳3級取得。 ・高校卒業後、2つの会社で電子機器製造の業務に従事したが、いずれも2～3か月で退職勧奨された。 ・職歴について、本人は以下のとおり述べている。 「今まで働いた会社は上司や同僚の対応が良くなかった。人間関係がうまくいかず困っていた」「自閉スペクトラム症の障害特性は、自分ではよく分からない」。 ・母親からは、本人の障害特性について以下の内容を聴取した。 「口頭での指示は理解することが苦手。仕事でも指示を理解することができなかったのではないか」「自分のやり方に固執する傾向がある。高校時は、先生の体調不良により、急遽教科の変更が生じたところ、声を荒げることがあった」「時間や予定が変更になると不安感が強くなる」「学校では、自分の関心のある話を級友に対して一方的に長時間話してしまい、人間関係を円滑に形成することが難しかった」。 ・このような状況から、家族に勧められ精神科クリニックを受診したところ、自閉スペクトラム症と診断された。また、ソーシャルワーカーから障害者雇用という方法があることを情報提供された。 ・本人は「また会社で働きたい」「支援は受けたい」「どんな仕事が自分に合っているのか分からない」等と話す。

問2 問1で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問3 問2で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200文字以内で記述しなさい。

問 4 問 1 及び問 2 で解答した支援を終えた A 氏は、次の B 事業所で 3 か月間の障害者トライアル雇用となったとする。「B 事業所の状況」を読んで、A 氏の就業継続を図るために B 事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を 1 つ、解答用紙の「B 事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B 事業所の状況
・衣料品製造販売会社。従業員数約 200 名。 ・身体障害の雇用経験はあるが、発達障害者は初めての雇用。 ・本人の作業は、返品された衣服の検品や汚れ落とし、商品の仕分け、値札のタグ付け、洋服のアイロンがけに従事。 ・本人の勤務時間は、9:00～16:00（休憩は 12:00～12:45）、週 5 日勤務。 ・本人の指導は主にパート職員のリーダーが対応する。リーダーが不在の時は、他のパート職員が対応する。正規職員のチーフは、リーダーから状況の報告を受け、必要に応じて本人に指導を行う。 （チーフより） ・障害のことはよく分からないため、指導方法や配慮事項を教えてほしい。 ・作業能率は徐々に高めてもらえれば良い。検品については正確に行ってほしい。 ・予定していた作業内容が急遽変更になる場合があるため、柔軟に対応してほしい。 ・リーダーの不在時は、指示を出す者を固定することができないので了承してほしい。 ・検品作業で判断に迷った時は、自分から質問してほしい。

問 5 問 4 で解答した「B 事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 6 問 5 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200 文字以内で記述しなさい。

[発達障害]

【メモ欄】

令和 8 年 4 月採用 障害者職業カウンセラー職
経験者採用試験＜専門試験問題＞

[A 問題の障害種別]

高次脳機能障害

＜注意事項＞

- 1 障害種別を確認してください。
- 2 「始め」の合図があるまでは、頁をめくらないでください。
- 3 表紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 4 問題にはA問題とB問題があります。
- 5 解答用紙はA問題用 1 枚とB問題用 1 枚があります。計 2 枚の解答用紙のどちらにも受験番号を記入してください。
- 6 解答時間は 2 時間です。「止め」の合図があったらすぐに止め、筆記用具を置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙とともに問題用紙も回収します。

受験番号	氏 名

A 問題

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問1～問6に答えなさい。

問1 次の「A氏の状況」を読んで、A氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を1つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A氏の状況
・40代、男性、高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、失語）。 ・大学卒業後、食品製造会社の営業職に就く。3年前に脳梗塞により受障。精神障害者保健福祉手帳3級を取得。リハビリを経て復職し、事務職に配置転換となったが、仕事に対応できず退職勧奨となった。 ・本人は復職後の状況について「作業手順をその場では理解できても、翌日以降忘れてしまうことが多かった」「手帳を活用することができず、予定を忘れてしまうことがあった」「データ入力作業でミスが多かった」「疲れやすく、集中力が持続しなかった」「言葉を理解することはある程度できるが、自分の考えを伝える場面では言葉がうまく出てこない」と述べている。 ・高次脳機能障害支援拠点機関から紹介を受けて、障害者雇用という働き方があることを聞いた。本人は「再就職したいが、復職後うまくいかなかったため自信を失っている」「どんな仕事が自分にできるのか分からない」「妻や子どもがいるため、給与を一定程度得る必要がある」等と話す。

問2 問1で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問3 問2で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200文字以内で記述しなさい。

問 4 問 1 及び問 2 で解答した支援を終えた A 氏は、次の B 事業所で 3 か月間の障害者トライアル雇用となったとする。「B 事業所の状況」を読んで、A 氏の就業継続を図るために B 事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を 1 つ、解答用紙の「B 事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B 事業所の状況
・ IT 関係企業。従業員数約 500 名。 ・ 身体障害者の雇用経験はあるが、高次脳機能障害者は初めての雇用。 ・ 本人の業務は、職員や顧客情報のデータ入力、ホームページの更新情報が正しく反映されているかチェックする作業等。 ・ 本人の勤務時間は、9:00～17:00（休憩は 12:00～13:00）。週 5 日勤務。 ・ 本人の指導に関わる職員は主に、主任。 （主任より） ・ 高次脳機能障害の特性や配慮事項は分からないため教えてほしい。 ・ 仕事中に困ったことがあったら、遠慮なく相談してほしい。 ・ ホームページのチェック作業については、判断基準を記したマニュアルがあるため、それを見て実施していただきたい。 ・ 就職当初は本人の実施した作業を他職員が確認するが、将来的には 1 人で実施してほしい。

問 5 問 4 で解答した「B 事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 6 問 5 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200 文字以内で記述しなさい。

[高次脳機能障害]

【メモ欄】

B 問題

次の語句についての説明を、解答用紙の欄にそれぞれ 70 字以内で記述しなさい。

問 1 ナチュラルサポート

問 2 障害者雇用納付金制度

問 3 ケアマネジメント（ケースマネジメント）